

【英検®2級】長文読解 5/10

解答

- (1) ② (2) ① (3) ③ (4) ① (5) ② (6) ③ (7) ① (8) ②
-

A の解説

(1) Why will the students prepare indoor activities this year?

正解: ②

選択肢の和訳

1. 子どもたちが屋外の遊びにあまり興味を持たなくなったから。
2. センターの屋外スペースが現在使えないから。
3. センターから工作活動を行うよう頼まれたから。
4. 冬の天候で屋外活動が難しくなる可能性があるから。

第 1 段落に、

“the center has recently started building a new playground. Since we cannot use the outdoor area this time, we need to prepare activities that can be done inside.”

とあります。センターでは新しい遊び場の建設が始まり、今回は屋外スペースを利用できません。そのため、室内でできる活動を準備することになりました。したがって②が正解です。①は子どもたちの興味が変わったとは書かれていません。③の工作活動は生徒たちが決めたもので、センターからの依頼ではありません。④も冬の天候が理由ではありません。

(2) What does Kevin ask Rina to do?

正解: ①

選択肢の和訳

1. 工作活動のためのカラーペンを買う。

2. 金曜日の音楽練習で歌う曲を選ぶ。

3. 色紙とのりを家から持ってくる。

4. Anna がキーボードを学校へ運ぶのを手伝う。

第 2 段落に、

“we still need some colored pens. Could you buy two sets and bring them to school by Thursday?”

とあります。Kevin は Rina に、工作活動で使うカラーペンを 2 セット買い、木曜日までに学校へ持ってくるよう頼んでいます。したがって①が正解です。

②は曲を選ぶよう頼まれていません。③の色紙やのりなどは用意する予定ですが、Rina が家から持ってくるわけではありません。④も Anna は自分でキーボードを持ってくる予定です。

(3) What has changed about Saturday's schedule?

正解: ③

選択肢の和訳

1. 生徒たちは予定より早く学校へ戻る。
2. 音楽活動が昼食前に始まる。
3. バスが学校を 30 分早く出発する。
4. 生徒たちはセンターで過ごす時間が短くなる。

第 4 段落に、

“the bus will leave school at 12:30 instead of 1:00 because the center has asked us to arrive a little earlier.”

とあります。当初は午後 1 時に出発する予定でしたが、センターから少し早く到着してほしいと頼まれたため、12 時 30 分出発に変更されました。したがって③が正解です。

①は学校へ戻る時刻は予定どおり午後 5 時ごろです。②は音楽活動の開始時刻について述

べられていません。④はむしろ早く到着するので、センターで過ごす時間が短くなるとはいえません。

A 本文全訳

件名: 児童センターへの訪問について

こんにちは、Rina。

来週の土曜日に児童センターを訪問するグループに参加してくれてありがとう。知っているように、私たち生徒会は毎年冬にセンターを訪れ、そこで子どもたちと午後の時間を過ごしています。去年は屋外でゲームをしましたが、センターでは最近、新しい遊び場の建設が始まりました。今回は屋外スペースを使えないので、室内でできる活動を準備する必要があります。

昨日、センターの Evans さんと話をしました。2 年前に訪問したとき、子どもたちは特に物を作る活動を楽しんでいたそうです。そこで、簡単な工作活動を準備することにしました。色紙やのりなどの材料を持っていき、子どもたちには小さなホリデーカードを作ってもらいます。材料のほとんどはすでに私が買いましたが、カラーペンがまだ必要です。2 セット買って、木曜日までに学校へ持ってきてもらえますか。お金は明日渡します。

短い音楽活動も計画しています。Tom がギターを弾き、みんなで何曲か一緒に歌います。ただ、使用する部屋にはピアノがないため、Anna が家から小さなキーボードを持ってくることになりました。金曜日の放課後に集まって歌の練習をし、すべて準備できているか確認します。

もう一つあります。センターから少し早く到着してほしいと頼まれたため、バスは午後 1 時ではなく 12 時 30 分に学校を出発します。12 時 15 分までに学校の事務室前に集合してください。

い。学校には当初の予定どおり、午後 5 時ごろ戻る予定です。

では、また明日。

Kevin Parker

生徒会

B の解説

(4) Why can mistakes sometimes be useful for learners?

正解: ①

選択肢の和訳

1. 学習者が誤解していたことを明らかにしてくれるから。
2. 難しい科目をより面白く感じさせてくれるから。
3. 難しい課題を繰り返す必要がなくなるから。
4. 教師が成績のよい生徒をすぐに見つけられるから。

第 2 段落に、

“This difference can help them identify something they have misunderstood.”

とあります。間違いをすると、自分が予想したことと実際に起こったことの違いに気づき、自分が何を誤解していたのかを見つけることができます。したがって①が正解です。

②は科目への興味についての説明ではありません。③は難しい課題を避けるという内容ではなく、④も教師が優秀な生徒を見つけるためとは述べられていません。

(5) Why may simply checking the correct answer be insufficient?

正解: ②

選択肢の和訳

1. 教師がどの答えを好んだのか忘れる

可能性があるから。

2. 自分の間違いの原因を理解できない可能性があるから。
3. 一人で問題を解くことに頼るようになる可能性があるから。
4. 以前の内容の復習に時間をかけすぎ可能性があるから。

第 2 段落では、間違いによって自分が何を理解していなかったのかを発見できるとしたうえで、

“If the student simply checks the correct answer and moves on, however, much of this opportunity may be lost.”

とあります。正解を確認するだけで先へ進んでしまうと、自分がなぜ間違えたのかを考える機会を失ってしまいます。したがって②が正解です。

①・③・④はいずれも、正解を確認するだけでは不十分である理由として本文には述べられていません。

(6) Why do some teachers discuss common errors in class?

正解:③

選択肢の和訳

1. 生徒が犯した間違いによって生徒同士を比較するため。
2. 生徒が解かなければならない問題数を減らすため。
3. 問題への異なる取り組み方を考えさせるため。
4. 授業からどの単元を外すべきか決めるため。

第 3 段落に、

“Students then learn that other people have similar difficulties and

can compare different ways of solving the same problem.”

とあります。クラス全体でよくある間違いを取り上げることで、生徒は他の人も同じような難しさを感じていることを知り、同じ問題に対するさまざまな解き方を比較できます。したがって③が正解です。

①は生徒を比較するためではありません。②の問題数や④の授業内容の削減についても本文には書かれていません。

(7) According to the passage, when is feedback especially useful?

正解:①

選択肢の和訳

1. 元の課題に取り組んだ後、早めに与えられるとき。
2. 最終的な正解を主に扱っているとき。
3. 生徒が元の考え方をすでに忘れているとき。
4. 同じ間違いを繰り返した場合だけ与えられるとき。

第 4 段落に、

“It is especially useful when learners receive it soon enough to remember how they approached the original task.”

とあります。フィードバックは、学習者が元の課題にどのように取り組んだかをまだ覚えているうちに受け取ると、特に効果的だと述べられています。したがって①が正解です。

②は正解だけでなく間違いの原因を理解することが重要です。③は本文と逆で、忘れる前に受け取る必要があります。④も同じ間違いを繰り返した場合だけとは書かれていません。

(8) What is the main idea of the

passage?

正解:②

選択肢の和訳

1. 間違いを避けることが最も効果的な学習方法である。
2. 間違いは、注意深く検討すれば学習に役立つことがある。
3. 教師は生徒に自力で間違いを直させるべきである。
4. 難しい課題ほど、より役立つ間違いが生じる。

本文では、間違いそのものが学習に役立つのではなく、その原因を考え、フィードバックを受けながら分析することで、自分の理解不足に気付けると説明されています。最終段落にも、

“When they are examined carefully, they can show learners where their understanding needs improvement.”とあります。したがって②が本文全体の主旨です。

①は間違いを避けることを勧めているわけではありません。③は教師の役割を否定しておらず、④も課題の難しさと間違いの価値を結び付けた記述はありません。

B 本文全訳

間違いから学ぶ

人は間違いをすると、がっかりすることがよくあります。学校では、生徒は間違った答えを言って恥ずかしく感じることもあり、職場では、大人はミスをする则ち自分の能力を低く見られるのではないかと心配することがあります。しかし、学習について研究する専門家によれば、間違いは役立つ情報を与えてくれる場合があります。重要なのは、その間違いにどのように

対応するかです。

学習者が間違いをすると、自分が予想していたことと実際に起こったことの間に違いがあることに気付きます。この違いによって、自分が何を誤解していたのかを見つけることができます。例えば、数学の問題で間違った答えを選んだ生徒は、ある規則を正しく理解していなかったことに気付くかもしれません。しかし、単に正解を確認して先へ進んでしまえば、こうした学習の機会の多くが失われる可能性があります。

そのため、教師の中には、生徒になぜ自分の答えが間違っていたのかを説明させる人もいます。これによって、生徒は単に答えを入れ替えるのではなく、間違いにつながった自分の考え方を振り返るようになります。また、教師がクラス全体でよくある間違いについて話し合うこともあります。すると生徒は、他の人も同じような難しさを感じていることを知り、同じ問題に対するさまざまな解き方を比較できます。

だからといって、間違いを多くすれば自動的によく学べるということではありません。原因を理解しないまま同じ間違いを繰り返しても、学習にはつながりにくいでしょう。フィードバックは、何が間違っていたのか、どうすれば改善できるのかを教えてくれるため重要です。特に、元の課題にどのように取り組んだのかをまだ覚えているうちに受け取ると効果的です。

したがって、間違いは単なる失敗の印ではありません。注意深く検討すれば、自分の理解のどこを改善する必要があるのかを示してくれます。間違いを単に隠すべきものではなく情報として捉えることで、生徒は自分の弱点に付き、より効果的な学習方法を選べるようになるのです。